Rotary
District 2640

人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017
10月

地区テーマ

対話から新たな一歩へ
共に楽しむロータリー

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

経済と地域社会の発展月間

ガバナー 福井　隆一郎
Governor Ryuichiro Fukui

District
2640

2016-2017 年度
国際ロータリー第 2640 地区　ガバナー事務所

〒590-0985　堺市堺区戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル 1 階 101 号室
TEL（072）223-1000 / FAX（072）223-1005
HP：http://rid2640g.com/fukui / E-mail：fukui2016@wind.ocn.ne.jp

ポリオ撲滅をご支援ください。

Rotary THE ROTARY FOUNDATION YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

2016-17年度は「ロータリー財団創立100周年」です

Rotary RID.2640
http://rid2640g.com/fukui/

Rotary ロータリージャパン
http://www.rotary.or.jp

Rotary Japan Facebook
http://www.facebook.com/RotaryJapan

目　次

10 月のＲＩ会長メッセージ　ＲＩ会長　ジョン・ジャーム　・・・・・・・・・・ 1

10 月のガバナーメッセージ　ガバナー　福井 隆一郎　・・・・・・・・・・・ 2−3

コーディネーターニュース 10 月号　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

ハイライトよねやま 198　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5−6

経済と地域社会の発展月間リソースのご案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

和歌山市内９ロータリーの補佐訪問を終えて　ガバナー補佐　山下 茂男　・・・・ 8

地区活動報告

国際奉仕活動への思いとクラブ委員長会議の報告
地区国際奉仕委員長　中野 一郎　・・・ 9−10

クラブ米山委員長会議及びカウンセラー研修セミナーの報告
地区米山記念奨学委員長　近森 裕子　・・・・・・ 11

クラブ青少年交換委員長会議の報告　地区青少年交換委員長　山田 正人　・・・・・・ 12

インターアクト国際交流親睦会　地区インターアクト委員長　木本 圭二　・・・・・・ 13

全国統一アクトの日の報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

クラブ活動報告

堺東 RC の友好クラブ紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

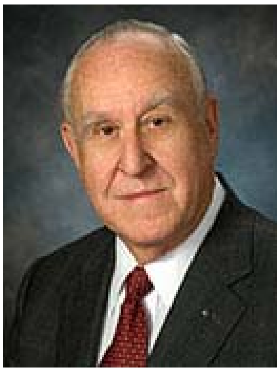
地区会員数・出席報告　2016 年 8 月　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

行事予定　2016 年 10 月　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

RI 会長メッセージ

最後の闘い

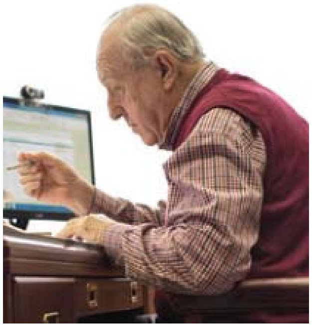
2016-17 年度 国際ロータリー
会長　**ジョン・ジャーム**



親愛なるロータリアンの皆さん、1979 年、当時、国際ロータリー会長だったジェームス L．ボーマーＪｒ．氏がフィリピンに赴き、子どもたちにポリオ予防接種を行いました。これは、ロータリーのポリオとの闘いの最初の活動です。会長が赤ちゃんの口にワクチンをたらすと、彼の注意を引こうと、彼のズボンを引っ張っている子どもの手に気づきました。ボーマー会長が見下ろすと、赤ちゃんのお兄さんが、会長を見上げて真剣な表情で言いました。「ありがとう。ロータリー、本当にありがとう」

ロータリーがポリオ撲滅に取り組み始める以前は、毎年 35 万人がポリオによるまひを発症し、そのほとんどが子どもでした。このフィリピンの子どもは、ポリオがどんな病気であるか、そしてロータリーが自分の小さな弟のために何をしてくれたかをはっきりと理解していました。ポリオプラスに着手してから 31 年がたった今、フィリピンの子どもたち、そして世界中のほぼすべての国の子どもたちは、ポリオという病気やその恐ろしさを知ることなく成長しています。過去には毎日 1,000 件のポリオが新たに発症していたのが、現在では平均すると 1 週間に 1 件未満となりました。しかし、ポリオへの恐怖心が弱まると同時に、この病気への注意も弱まっています。今こそこれまで以上にポリオへの意識を高め、ポリオ撲滅を最も重要な公的アジェンダに置き、政府の取り組みの優先事項とすることが非常に大切です。ポリオ撲滅の取り組みがまだ終わっていないこと、そしてロータリーがポリオ撲滅のために今もなお取り組んでいることを、世界に知ってもらう必要があります。

ロータリーは 10 月 24 日の「世界ポリオデー」を記念して、ポリオへの意識を高め、ポリオ撲滅に必要な基金を募ります。皆さんには所属クラブ、地域社会、オンラインでのイベント開催によるご協力をお願いいたします。アイデアや資料は、endpolio.org/ja/worldpolioday からダウンロードいただけます（日本語）。また、同リンクから皆さまのイベント登録をすることができます。私を含む数万人のロータリアンとともに、アトランタのアメリカ疾病対策センター（ＣＤＣ）本部で午後 6 時（アメリカ東部標準時／日本時間の 25 日午前 8 時）にライブで配信される世界の最新動向をご覧ください。ＣＤＣ所長のトム・フリーデン氏、その他の専門家、素晴らしい講演者とともに私も参加し、ポリオ撲滅に関する科学、パートナーシップ、人間ドラマなどの内部事情をお伝えします。



当日はロータリアンにとって大変素晴らしい時間となるでしょう。私たちは、ポリオプラスの終わりとポリオのない世界の始まりに向けて、最後の闘いにより一層力を注いでいます。これは、「人類に奉仕するロータリー」によってポリオ撲滅を達成する、まさに人生に一度のチャンスです。

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー　**福井 隆一郎**

皆様こんにちは　さわやかな季節の１０月になりました。素晴らしい季節を大いにお楽しみください。

ローターアクト・リーダーシップフォーラム

８月２８日　岸和田市の泉州ビルにおいて、国際ロータリー第 2640 地区新生ローターアクト　リーダーシップフォーラムが開かれました。鈴木新会長（御坊ＲＡＣ）のもと多くのローターアクトクラブの会員が出席しました。中西会長が大いに期待を込めて、これからのアクトの活動を支援するとのお話があり、明るい未来が開けてきます。今後多くの新しいメンバーが集うことを祈っています。ロータリアンからは雪本氏、永野氏のご講演がありました。永野氏は仕事を通じて、ＲＡＣとしても一生懸命奉仕活動をし、将来は尊敬するロータリアンに自分も、是非なりたいという信念のもと、起業し今では、素晴らしい会社に成長されました。そして、最近、岸和田ロータリークラブへ入会されたとのことです。ロータリーの素晴らしい考えが、永野氏のお考えの助力になったことはうれしい限りです。素晴らしいお話に、感動いたしました。ローターアクトは少し混乱がありましたが、若い力で、大きく飛躍されんことを、お祈り申し上げます。

長期・短期交換学生帰国報告会

８月２７日　りんくう物流センタービルにて、上記報告会が開かれました。今年の報告会は、映写がなしで、最後まで、自分の言葉で喋っていただきました。行先はヨーロッパ、米国が中心で、長期・短期の留学生がそれぞれの体験を話されました。長期と短期の体験やご自分の受け止め方の違いも、よくわかりました。長期の学生は笑ったことよりも、泣いて悲しかった体験から、留学を通じて自分自身が成長できたことを、話しました。素晴らしい体験で、自分自身しかわかりません。又、語学については、話すということの上に、言葉を通じて、生活上、体験上の深い意味合いが体験できたことが素晴らしいということでした。この貴重な体験で大きく飛躍することでしょう。

中長期問題検討委員会

８月２９日　和歌山市内で中長期検討委員会が開かれました。ガバナー選出についての討議を中心に行われました。西尾委員がご提案されたリポート（西尾リポート）に付、所見を全員が述べ合いしました。詳しくは議事録によりますが、ガバナー選出の方法に付、指名委員会制度を当委員会は再提案することによって、今期は間に合わなくとも、今後の望ましいルールとして、構築することが望ましい。そして、候補者排出問題や、指名委員について、分区、ガバナー補佐、などの組織を活用なども提案したい。様々な提案がなされました。当地区にとって一番大きな課題です。今後も真剣に考えて、一人一人が責任をもって考えなくてはならないと思います。

ロータリー財団

国際ロータリー第２６４０地区の２０１６～１７年度用財団補助金申請ハンドブックを、準備中です。財団活動や申請に役立つものです。完成次第ご連絡をいたします。是非お役立てください。

８月２０日　和歌山ＪＡ会館で２０１５～１６年度の地区補助金申請書承認の委員会が開かれ、多くの委員で、検討していただきました。公平で開かれた財団を目指しています。中野委員長はじめ、吉野補助金小委員長が中心となっ

て、話し合われました。結果はＨＰで公開します。今年度は変則的な活動で、皆様にご迷惑をおかけしましたが、これから正常な財団の活動が出来ると思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

又、岡田実沙季さんのグローバル補助金申請承認手続きが完了しましたので、イギリス側へ承認手続きを進め、９月２１日出発しました。

日本事務局より

最新 RI 定款・細則、クラブ定款・細則の４種類が日本語に翻訳されました。My ROTARY からダウンロード出来るようになりましたのでお知らせ致します。

https://www.rotary.org/myrotary/ja/learning-reference/policies-procedures/governance-documents

クラブ定款は少し前から既にアップロードされておりましたが一部表記に変更が生じたため、現在掲載されている最新版をダウンロードの上ご利用ください。RI 定款・細則およびクラブ定款の Word ファイルには「草案」という透かし文字が記載されています。Word ファイルご利用上、誤って規約文書が変更されないよう RI 米国本部より意図的に表記されています。各クラブにて冊子作成等の目的でご利用の際には、「草案」を取り除いてご利用ください。最後に、これら定款細則が含まれた 2016 年手続要覧（日本語版）の冊子発行についてはスケジュールが判明し次第 RIJO-FAQ でお知らせ差し上げます。

１１月にロータリー研究会が開かれます。斉藤ＲＩ理事は日本としての、統一見解を出すと言われています。今回の規定審議会についての、ロータリアンからの問い合わせが、多くなっていますが、情報を密に取りながら、ご確認ください。地区からも出来るだけ早くお送りいたします。

米山記念奨学会

米山記念奨学会のクラブ委員長会議が行われました。当地区の米山記念奨学会の学生数は今までの総額では、地区別では第７位ですが今年度は 25 位に甘んじています。色々な原因が考えられますが、これから前を向いていきましょう。受け入れ国別では、依然中国が１位ですが、全体の割合は少しずつ下がってきています。優秀な外国の学生を受け入れて、国際親善に貢献していただくよう、頑張っていただいています。

今年度は近森委員長が多くの方々の応援をいただきながら、いろいろな行事をこなしていただいています。どうぞ、皆様の絶大なるご協力を切にお願い申し上げます。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2016年10月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーデネーター
今月号の担当　Zone 1 RPIC

■　ロータリーの公共イメージ向上のために

ガバナーエレクトとして	ガバナーとして
地区広報委員会の委員長と委員を任命する。	地区とロータリーのスポークスパーソンとなる。
地区広報のために予算を組む。	広報計画を立てるようクラブに奨励する。
クラブを対象とした広報の研修が実施されるよう手配する。	地区のウェブサイトとソーシャルネットワーキングサイトが定期的に更新されるよう手配する。
ロータリークラブ・セントラルでクラブが広報目標を立てるよう、ガバナー補佐と協力して確認する。	奉仕プロジェクトの広報を効果的に行う。また、ロータリーショーケースやロータリークラブ・セントラルでプロジェクトの成果を紹介するようクラブに奨励する。

■　2016-17年度ロータリー公共イメージコーディネーターの目標

◎以下のトピック（1つまたは複数）に関する無料メディア掲載（ロータリーが費用を支払わずに外部メディアにより掲載される記事）を、各地区で少なくとも10件確保する。

a.　特筆すべきクラブのプロジェクト
b.　地元ロータリークラブの支援を受けた人または団体
c.　学友
d.　ロータリークラブ会員とそのボランティア活動の紹介
e.　地元のイベント/募金活動
f.　ポリオ撲滅または6つの重点分野
g.　人びとの交流/ネットワークを広げる機会
h.　世界ポリオデー
i.　ロータリーデー
j.　ロータリーのイベント/財団100周年イベント

■　クラブ数　会員数

	クラブ数	会員数
Zone 1	830	28,484
Zone 2	651	27,925
Zone 3	793	32,629
合計	2,274	89,038

（2016年8月19日現在 のClub Central のデーターです）

■　BOX登録件数

Zone 1	53 件
Zone 2	27 件
Zone 3	79 件

8月19日現在　合計 159 件

Rotary
JOIN LEADERS | EXCHANGE IDEAS | TAKE ACTION

ロータリーとは何かを説明するには、この3つのフレーズを使うと一貫性があり、明確に表現する事が出来ます。

様々な**「リーダーが集まり」**

「アイディアを広げ」

社会のために**「行動する」**

box

クラウドストレージの「Box」は、個人向けの無料サービスもあるが、主軸は企業向けの有料サービス。すでに世界4万7000の企業・組織がアカウントを持ち、「フォーチュン500」企業の51%で利用されている。

DIAMOND online　より

公共イメージ向上作戦

上記右側囲み欄に、「BOX登録件数」とありますが、これは昨年の10月よりRPIC（公共イメージコーディネーター）が始めた「クラウドBOX」の事です。

クラブや地区が奉仕事業やロータリー活動を行って新聞記事になった場合、その記事を地区経由で「クラウドBOX」に投稿して下さい。それをお互い閲覧することで、情報共有し、その後のロータリーの広報活動のヒント・参考にして頂きたいと思います。又、アンケート形式でのフォーマットがありますので、プロジェクトの概要報告をお願い致します。<rpicjapan@gmail.com>に「詳細希望」という件名で空メールをお送りいただくと投稿および、閲覧方法が自動返信で届きます。

この活動を「公共イメージ向上作戦」と名付けております。今年度も継続していますので、各地区・クラブのご協力をお願い致します。

（Zone1 RPIC　渡辺敏彦）

ハイライトよねやま 198

2016年9月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報　— 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて3.4%減（普通寄付金0.9%増、特別寄付金10.9%減）、約1,070万円の減少となりました。前年度よりは減少したものの、寄付累計額としては直近8年間のうち2番目に高い金額で、好調に推移しています。多くのロータリアンの方々からのご寄付に厚く御礼申し上げます。来月10月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。詳細は当会ホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

理事会・評議員会報告　— 新しい理事が選任されました —

理事会（8月18日開催）および定時評議員会（9月7日開催）が以下の通り開催されました。

第十二回理事会　議長：三井章義副理事長　出席者：理事26人　監事2人　陪席：1人

【主な議題】2016年度評議員候補者、理事・監事候補者、2015年度事業報告および附属明細書、2015年度計算書類、2016年度収支予算書一部修正・システム開発費の件、専門委員選任、定時評議員会招集、「株式受領関連規程」の件、「寄付金名称」の件：承認

第六回評議員会　議長：坂本俊雄評議員　出席者：評議員29人、常務理事・監事10人

【主な議題】2016年度評議員選任、理事・監事選任、2015年度計算書類および監査報告、定款変更：承認

また、評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、以下の役員候補者が承認されました。

理 事 長：小沢一彦氏（2780）
副理事長：若林紀男氏（2660）・杉谷卓紀氏（2720）
常務理事：武田和夫氏（2800）・塙 東男氏（2820）・山崎淳一氏（2830）・水野功氏（2750）

ＧＥＴＳで米山学友がスピーチ

ガバナーエレクト研修セミナー（ＧＥＴＳ）が9月5～6日、都内で開催され、2日目午後の全体会議セッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、小沢一彦理事長と岩邉俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。続く「ロータリー学友からのメッセージ」のセッションでは、ロータリー平和フェローと共に、二人の米山学友、スリランカ出身でよねやま親善大使のスチッタ・グナセカラさんと、アメリカ出身で邦楽を研究するシュムコー，コリーン・クリスティナさん（2014-16／東京葛飾ＲＣ）が、スピーチをしました。

スチッタさん（左）とコリーンさん

スチッタさんは、自身がスリランカに設立した日本語学校からすでに69人の若者を日本留学に送り出したこと、その卒業生の中から米山奨学生になる学生が出たことなどを報告。「良いロータリーになっていませんか？ですから皆さん、もっと喜んでください」との彼の言葉に、会場は笑いと拍手に包まれました。また、コリーンさんは、三味線の実演で会場を湧かせながら、邦楽との出合いや“ロータリーは家族”との思いを語り、ロータリーとの交流をベースに彼女が作曲した邦楽曲などを披露しました。二人の発表に、会場の皆さんから惜しみない拍手が送られました。

タイ米山学友会が植樹活動

タイ米山学友会が7月30～31日、学友13人と、その家族・友人を合わせた計32人で植樹活動を行いました。

今回植樹をしたのは、タイ東北部にあるタップラーン国立公園で、2005年に世界自然遺産にも認定された公園です。地元市役所の協力を得て苗木60本を植え、水やりをしたほか、Y字型のゴムパチンコを使った種飛ばしには、子どもも大人も楽しみながら、競い合って遠くへと飛ばしました。

最後は全員でマッシュルーム工場を見学し、仲間同士の絆を一層深める1泊2日の活動となりました。

台湾学友会による日本人対象奨学金 第8期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」の第8期生が決定しました。6月末までの締切に8人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、合格者2人が決定しました。今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約85,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生活を物心両面で支えます。

小野 真帆さん

震災プロジェクトにより台湾へ留学。嘉義県の南華大学で勉強中。9月から国立台湾大学大学院国家発展研究科へ進学し、「アジア地域統合での台湾の苦境」を研究する。

伊藤 剛浩さん

9月から国立清華大学大学院へ進学。研究テーマは「高速に降水量予測を行うための数値演算加速器の研究」「次世代主記憶装置を有効に活用するための計算機アーキテクチャの研究」。

まもなく最新の米山月間資料が届きます！

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月16日より発送開始、21日には到着予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、ガバナーエレクト、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

【米山月間資料】

①豆辞典（必ず会員のみなさま全員へ配布してください）
②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
③寄付金マニュアル　④事業報告書　⑤事業報告書（統計・資料編）
ほか

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary

経済と地域社会の発展月間 リソースのご案内

<出版物>

電子ファイルは資料名をクリックしてご利用いただけます。冊子版は、注文用紙にてお申し込み願います。

- **ロータリーの重点分野**（資料番号：965）[印刷版：$2.00]
  当冊子 14・15 ページに経済と地域社会の発展に関する情報がございます。（2015 年 5 月版）

<映像資料>

オンライン版のみになります。映像名をクリックいただきますと、映像が掲載されているページが開きます。再生ボタンを押していただくか、ダウンロードの箇所から保存してご利用願います。

- **先住民の未来を支えるロデオスクール**
  ロデオスキルを伝授しながら、基本的教育の機会を提供し、仕事を得るための支援をクラブで行っています。[4 分 03 秒]

- **ホンジュラスでよいことをしよう**
  わずかな融資で女性の経済的自立をサポートする、中米ホンジュラスでのプロジェクトです。
  [2 分 43 秒]

- **世界でよいことをしよう：地域経済の発展**
  インドで貧困労働者の賃金と労働条件の改善に取り組むロータリープロジェクトです。[2 分 52 秒]

<ウェブ掲載記事>

タイトルをクリックいただきますと、記事のページが開きます。

- **「思いやり」を真の支援につなげる (2014 年 7 月)**
  アフガニスタンにおける村の女性たちへの「ヤギの提供プロジェクト」を通じた長期的な地域社会発展への貢献プロジェクトの記事です。

- **米国人夫妻がウガンダの村を支援 (2013 年 8 月)**
  村人の考え方を尊重し、村の文化を守りつつ、その村に合う経済発展を手助けする貢献プロジェクトの記事です。

108-0073 東京都港区三田 1 丁目 4-28 三田国際ビル 24 F 国際ロータリー日本事務局
業務推進・資料室 Tel: 03-5439-5802 Fax: 03-5439-0405 Email: rijpnpi@rotary.org

和歌山市内９ロータリーの
補佐訪問を終えて

ガバナー補佐　山下 茂男

新年度スタート以来、補佐として、担当９クラブを訪問させて頂き、各クラブの皆さんの奉仕活動、事業活動の説明を受け各クラブの皆様の熱いロータリー活動、精神に接し感銘を受けました。私自信が一番勉強させて頂いたと感謝申し上げます。

また各クラブ共通しての問題点は高齢化、会員の若返り、会員増強、だと感じました。訪問先で感じるのはやはり 2640 地区が正常に戻りつつある事が実感として感じられます。多くの会員の方から委員会やその他の会議に出席したおり参加者から多くの活発な意見が出るし何より会議自体の雰囲気がとても良い、「これでこそロータリーですね。頑張ってください。」と多くの方から励ましのお言葉を沢山頂きました。

また、有る会員さんから、（この地区の混乱を自分のクラブと関係ないから余り関心が無かったが、地区が正常に機能しなければ自分達のクラブへも大きな影響があり、ロータリー自体にも悪い影響が出たように思います。二度とこのような混乱する地区に成らないようにしなくてはいけませんね。出来る限り協力しますので頑張ってください。）と有りがたい激励も受けました。

まさしく地区の正常化の第一歩を使命として就任されたのが福井ガバナーだと思います。今後とも皆様のご協力よろしくお願いします。

私の担当地区の福井ガバナー訪問も本日無事終わりました。

ここで福井ガバナーの訪問時の言葉を改めてご紹介させて頂きます。

①対話から新たな一歩へ　共に楽しむロータリー（地区内で会話、対話のできる環境を作る）
②開かれた正しい地区運営、明朗な地区会計を実践して行く。
③次世代の会員育成、地区、各クラブ（委員会、役員が偏らないよう人材を育成していく。）
④皆さんと共に今一度初心に帰りロータリーの勉強をしましょう。
⑤分区（旧ＩＭ）単位での活動を活発にして頂き好意と友情を深めて欲しい。
⑥ガバナーの選出方法、ガバナー事務所の固定、ガバナー事務職員の継続、固定、育成を今後の地区の為に最善な方法を考える。
⑦ロータリアンとしての意義、質と誇りを習得し業界、地域の模範者となりロータリーのステイタスを上げよう。
⑧ロータリー財団補助金申請の手引きを作成する。
⑨１０月２２日、２３日の地区大会の会員皆様のご参加よろしくお願いします。

和歌山 RC

和歌山アゼリア RC

和歌山中 RC

和歌山城南 RC

和歌山東南 RC

和歌山南 RC

和歌山北 RC ・ 和歌山東 RC 合同例会

和歌山西 RC

国際奉仕活動への思いと
クラブ委員長会議の報告

地区国際奉仕委員長　**中野　一郎**

平素は当地区委員会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ロータリーは世界理解と親善を推進するために様々な活動を展開しております。奉仕の第４部門である国際奉仕活動はまさにその核心を反映するものであり、参加することにより皆様に大きな充実感をもたらします。国際奉仕の理念は「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」と掲げられております。目的の意味を解釈すると、国家、宗教、思想など様々な要素が入り混じって現実には一つとは言えない世界を、ロータリアンの友情に基づいた相互理解によって一つのものとして恒久の世界平和を目指すところにある訳です。異なる文化、国々を理解するという意味で、ロータリーの国際奉仕活動は当初、各種交換事業からスタートした経緯も「ロータリーの目的」に照らせ合わせば理解できると思われます。

1960年代には開発途上国での、飢餓、貧困、疾病などの問題がクローズアップされ、これらを起因とした地域紛争が起こり、結果として世界平和を阻害するという考えから、これに対処する人道的な救済活動を国際奉仕に含める事になりました。世界社会奉仕（WCS）と称されるこの活動について当初は、技術供与やマンパワーの提供のみで目に見えた効果が上がらない活動でありましたが、1967年より財政的援助を加えた人道的国際奉仕活動となり様々なプロジェクトが実現できるようになりました。ロータリーが国際的な奉仕団体として舵取りを始めたのが1960年代の後半ではないかと推測できる訳です。また当時アジアから初めて輩出されたRI会長であるニッテッシ・ラハリー氏（インド）による影響も大きかったのではと思われます。

ロータリーの奉仕活動は人的、精神的な奉仕に金銭的、物的な奉仕を含めた現在の奉仕活動へと移行し始めた訳です。金銭的な部分の補助金を拠出するロータリー財団のマッチンググラントのプログラムがスタートしたのもこの当時です。マッチンググラントを活用した活動は、基本的教育、識字率向上、飢餓貧困、学校や病院のインフラ整備などを目的に困窮した地域社会に様々なプロジェクトを展開いたしました。また、人的交流分野では国際親善奨学生、GSE, 平和フェロー、などに資金を拠出したわけです。

さて、人道的支援プログラムであるWCSプログラムは2011年6月30日をもってRI理事会決定により突然廃止となりました。RI提唱プログラムの運営が今後は各地区、クラブの自主性を重んじる事の必要性を考慮しこれらの活動は「クラブ主導へと転化する」という本来あるべき形を反映したものと言われておりますが、諸説あります。RI主導のWCSプログラムは廃止されましたが、国際的な人道的支援プロジェクトが無くなる訳でなく、むしろRI長期戦略を考えますと優先項目である「人道的奉仕の重点化と増加」が地区、クラブの奉仕活動に、より求められてくると思われます。ロータリー財団のグローバル補助金の対象である「6つの重点分野」に対するプロジェクトは継続性を高める意味で長期的な目標設定が必要となりますが、是非とも各クラブにおかれてはチャレンジ頂きたく思います。

フィリピ・セブ貧民街の子供たち

当地区委員会におきましては本年度の強調事項として水とその衛生問題、飢餓貧困問題、基本的教育と識字率向上、保健問題という人間が生活していくうえでの必要最低限にニーズに焦点をあわせ各クラブへの活動参加をお願いしています。又、クラブの自主性を考えクラブ主導型の奉仕活動を推奨しております。地区主導でのプロジェクトでは会員皆様の意識の向上が図りにくく、又クラブとしてはただ単にお金を捻出してそれで終わりという結果になりがちだと考えるからです。奉仕活動をクラブの活性化のツールと考えるならば、会員皆様の直接参加によるクラブ主導型が望ましく、資金的に困難な場合には旧ＩＭ内での連携や近隣クラブとの合同事業という方法もあり結果として旧ＩＭ内の活性化に繋がり、クラブ間の交流もより緊密なものになる事と思います。

本年度の地区テーマは「対話から新たな一歩」です。一歩踏み出すには行動が必要であり、ロータリアンの行動とは親睦と奉仕活動の実践にあります。特に国際奉仕は日本から海外へと友情の架け橋をつなぐプロジェクトであり実践することにより“世界理解、親善、平和を推進する”という我々ロータリアンに課せられた使命を果たすには最も効果的なプログラムだと考えられます。世界中に起こっている困難に対し我々がお手伝い出来るプロジェクトは無数にあります。微力ながら皆様のクラブのサポートに地区委員長として努力いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

次に2016～2017年度　クラブ国際奉仕委員長会議の報告を致します。9月10日（土）13時30分～16時30分　テクスピア大阪にて開催。当日は、福井ガバナーを始めとする13名の地区役員と各クラブより50名を超える多数の出席を賜り、終始和やかなムードで会議は進行し数年来の地区内の混乱も終焉が近いものと確信いたしました。

定刻通り、開会点鐘、福井ガバナーの挨拶の後、私から「国際奉仕の概要と当地区の国際奉仕の現況」について報告させていただきました。国際奉仕の概要については、前述に思いを述べさせて頂きましたのでご参考として下さい。当地区内の各クラブの現況につい

ては事前にアンケートをお願いしておりましたので、皆様の今後の委員会活動の参考になればと思い報告いたします。

地区内 70 クラブ中 63 クラブの回答

海外友好、姉妹クラブがあり　34 クラブ
台湾、韓国が多い
2015～2016 年度の国際奉仕活動
人道的支援　17 クラブ　　教育的支援　18 クラブ
2016～2017 年度の国際奉仕活動
28 クラブが予定あり
ロータリー財団の補助金利用
予定あり　10 クラブ　　予定なし　22 クラブ
利用したいが理解しづらい　4 クラブ
地区内他クラブからの国際奉仕協力要請について
賛同協力可能（事業内容の検討含む）14 クラブ
前向きに検討します　9 クラブ
国際奉仕活動に予定のない理由
予算の問題。会員の高齢化。社会奉仕活動を優先。会員減少の為、単独では荷が重い。6 つの重点分野に該当する事業ができない。等々
地区主催の海外視察について
必要である　28 クラブ　必要でない　16 クラブ
必要な理由：プロジェクト実施後、視察すれば感動する。国際奉仕の必要性が実感できる。地区主催の WCS 活動を復活させ国際奉仕を見つめなおす良い機会としてほしい。見分が広がる。支援する情報収集のため、地区主導の企画は良い。等々
必要でない理由：奉仕する金額以上の費用を費やす、物見遊山的な視察は必要ない。最近の海外事情に不安がある。地区が主導するものではない。等々
国際奉仕活動における地区へのご意見
具体的な情報提供があればクラブも検討しやすい。奉仕活動は各々のクラブで自主的に行われるべきである。地区の皆が活性化する親睦と奉仕のバランスが取れた企画を希望する。プロジェクト実施国に赴き、実際に見聞き触れ合う体験が今後の事業参画の啓発になる。他地区や他国の奉仕活動の事例紹介や金銭面、情報面などの側面的なクラブ支援を強化してほしい。クラブの小規模化が多い中、合同プログラムを取り入れるべきだと思うが各クラブの腰が重いので、国際奉仕活動のグループ化をすればどうか。以前の地区 WCS のような事業の復活。等々

以上がアンケートの結果です。ご協力頂いたクラブの皆様に感謝申し上げます。

次に私から 2011 年にインド 3131 地区で村上 PDG ご夫妻と共に活動した　ポリオワクチン経口投与と識字率向上活動をパワーポイントにて説明させていただきました。喜多委員からは橋本ロータリークラブが展開しているネパールの学校建設の説明があり、休憩をはさんで、中野　均ロータリー財団委員長から財団についてのご説明を頂戴いたしました。

ネパールの学校建設　橋本ロータリークラブ

RI からの最近の通達である、「国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、財団の共催での委員長会議が望ましい」との意見を反映した試みです。加えて、我々の奉仕活動の原資の 1 部となる補助金についての活用方法をクラブ委員長の皆様に更なる理解を深めて頂き、今後の国際奉仕活動に生かしていただきたいとの考えによるものです。グローバル補助金の活用についてはハードルがかなり高いとの説明でしたが、地区財団委員会と国際奉仕委員会でサポートいたしますので各クラブにおかれましては是非ともチャレンジしていただきたく思います。

2017 年 6 月 10 日より開催されるアトランタでの国際大会のお誘いと説明が地区オンツーアトランタ委員の西田様からありました。今期の国際大会はロータリー財団 100 周年を祝う節目の大会でもあり皆様の多数参加をお願い申し上げます。

質疑応答の時間では、財団の補助金について活用しづらいとの質問に中野　均委員長が懇切丁寧に回答されていたのが印象的でした。最後に福井ガバナーより講評を頂戴し、定刻にて閉会点鐘となりました。

ご参集頂きました、各クラブ委員長様と地区役員の皆様には円滑な会議の進行のご協力、感謝申し上げます。また、会場の都合上スクール形式となり、クラブ間の議論の場をご提供できず、やや一方通行的な会議の進行となったことをお詫び申し上げます。今年度、皆様に活動が実り多い年度となることを祈念申し上げます。

敢えて同日に行った、クラブ米山委員長会議 及び カウンセラー研修セミナー

地区米山記念奨学委員長　**近森 裕子**

9 月 17 日(土)に、クラブ米山委員長会議とカウンセラー研修セミナーを同日に行いました。

同日に合同で行った目的は、米山記念奨学事業という全体像を把握して頂き、全体像を通してそれぞれのポジションがどんなお役目を担当しているのかを理解し、クラブ米山委員長　及び　お世話クラブ・カウンセラー双方ともに米山記念奨学事業を支える両輪である事をご理解頂きたかったからです。

まずは前半、それぞれ別室にて行いました。クラブ米山委員長会議の担当は、寄付増進小委員会の木村勝次　委員長（田辺 RC）と、司会を担当して下さった　木畑　清　地区米山委員(堺北RC)、そして、私・地区米山委員長の近森裕子(堺 RC)の３人で受持ちました。そしてカウンセラー研修セミナーの方を受け持って下さったのは、選考小委員会の谷野一彦　委員長（羽衣 RC）と、学友小委員会の山本佳弘　委員長（田辺はまゆう RC)、神谷尚孝　地区米山委員(和歌山東南 RC)、そして、カウンセラーと兼任というお立場で、松山雅昭地区米山委員（橋本 RC)、及び、中　善隆　地区米山委員（有田南 RC）が受け持ちを致しました。

福井ガバナー

前半、別室にて同時進行でセミナーをしていたカウンセラーさまは、奨学生のお世話役・相談役ですので、常日頃から奨学生と接する機会が多いです。そして、そのカウンセラーさまのホームクラブであるお世話クラブ様は、毎月一回例会出席義務のある学生と交流する事が出来、学生たちが頑張っている姿や、成長してゆく姿を間近に実感する事が出来ます。カウンセラー研修セミナーの前半では、各カウンセラー様に、現在の奨学生との問題点をお一人お一人に尋ね、その問題点の対策と傾向を話し合う予定でしたが、谷野副委員長いわく、カウンセラー様は皆さん問題なく、学生との関係を良好に築き、ホームクラブの会員の皆様にも可愛がっていただき、良い関係が奨学生との間に築けているとのことでした。

対して、その一方、クラブ米山委員長さまのお役目と申しますのは、自分のホームクラブの会員さまに米山奨学事業を理解して頂く事、すなわち理解促進、及び、理解して頂いたうえで気持ち良く寄付をして頂く事、寄付増進、このふたつがお役目です。奨学生をお預かりしているお世話クラブのクラブ米山委員長さまは、まだ会員の皆様に米山事業の事やご寄付に関してご理解して頂き易いかと思いますが、お世話クラブではないクラブ米山委員長さまは、学生達と交流する機会が少なく、学生の頑張る姿や成長してゆく様子を肌で感じる事が少ない、にもかかわらず、クラブの皆様には寄付をお願いしなければならないという実に大変なお役目です。

今回のクラブ米山委員長会議は、少しでも奨学生をご理解頂こうと、現役奨学生・３人の卓話をご用意致しました。学生たちがどうして日本に留学したのか、日本を好きになるきっかけは何だったのか、従軍経験で心に学んだ事は何か、将来何処を目指しているのか、等々…、異文化を理解しようとする外国人、そしてそれを理解しようとする私達日本人のお互いの姿勢が、クラブ米山委員長さまがたに少しでも伝われば嬉しく思います。私的には、これぞ国際友好親善の第一歩であると感じられた奨学生の卓話会でした。

日本文化に親しむ米山奨学生

9月4日

クラブ青少年交換委員長会議の報告

地区青少年交換委員長　山田　正人

今回の目的は、各クラブの青少年交換委員に集まってもらい、青少年交換プログラムの素晴らしさと意義を伝え、次年度から「参加したい」と手を上げてもらうためでした。

私は、北中パストガバナーご夫妻に連れて行っていただいた、4年前にあった、シドニーで世界大会に初めて参加し、本大会と並行して行われていた『青少年委員会議』に参加した時の話をさせてもらいました。

その会議は世界中から青少年交換委員が集まり、交換プログラムの現状と課題点を共有し、一緒に解決するという内容でした。幾つもの分科会があり、オーストラリアのロータリアンが司会や基調講演をこなし、

活発な質疑応答がありました。本気で、子どもたちを育成しようとする大人たちの熱気に包まれて、難しいけれども、楽しい時間でした。

「青少年交換プログラムの成否は、クラブカウンセラーにかかっている」という内容の基調講演に最も惹かれました。クラブカウンセラー、学校、ホームステイ家族の3者が、3身1体となって取り組まなければ、成功にたどり着かないプログラムなのです。その要にいるのが、クラブカウンセラーです。カウンセラーは、月に一度、ホームステイ先に連れてこられて例会で顔を見るくらいではダメで、常に学生の変化に気づけるように、学校やホームステイとコンタクトを取り、時には、叱り、時には励まし、常に側にいる良きアドバイザーであり、良き友人であるべき存在なのです。高校生たちは、いかに大きな体をして大人に見えていても、中身は、自分の家族しか知らない、自分の地域や生活様式しか知らない、まだ未熟な存在です。大人扱いするには早過ぎます。彼らにとって、支援者であり、リーダーであり、理解者であることを示すことが、大切です。1年のうちに、たいへんな時期が必ずあります。温かいアドバイスを与え、自らやる気を起こさせることができるのがカウンセラーという存在なのです。

留学を終えて帰国したばかりの長期留学の河南高校の米田真生さんと、短期留学の柑谷実咲さんに、報告をしてもらいました。インドネシアで、周りに日本人がひとりもいない中での体験は、想像を絶するストレスがあったものと推察されます。そのなかで、インドネシア語コンテストで1位を取り、他国から来ている留学生よりも

一番うまくインドネシア語をマスターした体験は、今後の彼女の人生を左右するほどのものでしょう。辛かった時に助けてくれた家族の人たちとの絆は一生の宝だと思われます。彼女は、「この恩返しを日本でします」とキッパリと言ってくれました。

イギリスで3週間を過ごした柑谷さんは、最初の体調不良で、（本人はともかく）周りの人たちを振り回したということで、謝っていましたが、それもいい経験です。周りの大人たちが寄ってたかって、何とかしようと右往左往しているのを見ているから言える言葉ですから。彼女はホームステイ先の母親の計らいで、イギリスで働く日本人コンシェルジュと話ができたことが、彼女の進路を変えたと言っています。短い時間で観光に終わりがちな短期留学のなかで、いろんな出会いがあり、その体験をしっかりと受け止めた彼女のチカラを賞賛したいと思います。

2人の口から、お世話になった人々への感謝の言葉は、言わされて言っている言葉ではなく、心から湧き出た素直な気持ちだと思います。異文化に触れること、信頼できる人に出会うことは、人生を変えてくれます。ロータリーの青少年交換プログラムは、「心の中に平和の砦をつくる」（ユネスコの前文の言葉）のに、最もふさわしい留学ではないでしょうか？ 留学生に関わってくれた周囲の人々に感謝します。全世界の地元のロータリアンが親身になって貢献してくれていることに、最大の賛辞を送りたいと思います。

2640地区のロータリアンの皆さんも、本気で取り組んでみませんか？高校生にとって、素晴らしい機会を与えるだけでなく、ロータリアン自身の人生に喜びと豊かさを与えてくれると確信します。世界の平和は、絵空事ではなく、このように地道に人とつながることによってなし得るのではないかと思います。より多くのクラブが青少年交換プログラムに参加されることを願ってやみません。

青少年長期交換学生の募集

実施期間：2017年8月～2018年9月

青少年夏季短期学生の募集

実施期間：2017年7月初旬～3週間程度

詳しくは

青少年交換プログラム

http://rid2640g.com/fukui/reports/387/

インターアクト国際交流親睦会

地区インターアクト委員長　**木本 圭二**

平成 28 年 9 月 4 日（日）10：30～15：30
場所：松原商工会議所

出席者
インターアクト　71 名　　インター顧問　15 名
ロータアクト　2 名　　ロータリアン　12 名

公益財団法人ＰＨＤ（PEACE, HEALTH&HUMAN DEVELOPMENT）協会のスタッフと海外からの研修生３名に来て頂き、研修生の活動内容の紹介やインターアクターから研修生に対して質疑をしました。

また、午後からのプログラムは松原高校によるスタディーツアー報告会を開催しました。

ホストの松原高校生

ＰＨＤスタッフの講演

ホスト校　松原高校学校長

ガバナー　開会挨拶

松原高校スタディーツアー報告会
（2016 年 3 月　タイ北部、モン族ホームステイ）

全国統一アクトの日の報告

9 月 11 日（日）和歌山県日高郡日高川町の日高川交流センターにおいて、全国統一アクトの日を開催しました。

ロータリアン、ローターアクターを始め米山記念奨学生や OBOG 含め、70 名を越える多くの方にご参加いただきました。

当日は、堺利晶ロータリークラブ会長の江口様にご講話いただいた後、グループに分かれてカレーづくりを行いました。今回のカレーづくりでは食材をくじで選んだ後、様々な調味料を使い、各班によって独自の味付けをしていただきました。

その後、全グループのカレーを各班の代表者に試食してもらい、最優秀賞とユニーク賞を決定しました。どの班のカレーも甲乙つけがたく、代表者の方は何度も食べ比べて投票されておられました。

昼食後、各班ごとにディスカッションを行いました。時間を追うごとに活発な発言が見受けられ、発表の際には各班が趣向をこらした発表をしていました。

参加いただきましたロータリアンや米山記念奨学生の皆様、ローターアクトの OBOG の皆様、本当にありがとうございました。

クラブ活動報告

堺東 RC の友好クラブ紹介

堺東 RC は、現在、国内 2 クラブと友好クラブの締結を行っています。

1つは、第2730 地区 鹿児島県の霧島RC であります。姉妹クラブや友好クラブを持っていなかった 2008～2009 年度、言葉の通じる国内のどこかのクラブと友好クラブを締結したいとの思いがクラブ内で高まりました。当クラブに霧島市出身の会員がいたご縁もあり「なんとかこちらからお誘いしてはどうか」と理事会で話が進んでまいり、手紙を出すことで、こちらの気持ちを伝える事になりました。霧島 RC でも突然の誘いに大変驚かれたと思いますが、結果は、すんなりと「OK」を頂くことになりました。

霧島 RC は、昭和 57 年 4 月の創立で、堺東 RC は昭和 47 年 4 月の創立であり、丁度 10 年違いでありますが、おめでたい周年行事がいつも重なる事になります。目に見えない何かの良いご縁を感じない訳にはいかない関係です。このように霧島 RC とは堺東 RC からラブコールを送り友好クラブの締結がなされ、行ったり来たりの関係が続く、言わば「親睦」がきっかけとなった友好クラブであると言えると思います。

次にもう一つの友好クラブとして、第 2520 地区 岩手県の宮古東 RC があります。霧島 RC が「親睦」を通じたのに対し、宮古東 RC は「奉仕」を通じて友好クラブに発展したと言えます。ご存じのとおり、2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生いたしました。思いもよらぬ大惨事に日本中が悲しみに包まれました。20011～2012 年度は堺東 RC 創立 40 周年の年度でもあり、何か目に見えてお役に立つことが出来ないかと検討を重ねました。

記念事業報告

岩手日報より（2011 年 10 月 28 日）

津波到達 刻む石柱

宮古東ロータリーク

市内15カ所に建立へ
「警鐘後世に」願い込め

東日本大震災で539人が死亡・行方不明の宮古市。宮古東ロータリークラブ（山口正樹会長）は、市内15カ所に津波到達点を示す石柱を建立する。同市内では明治、昭和の三陸大津波で2度の壊滅的な被害を受けた教訓を伝える石碑が、平成の大津波から11世帯約30人の集落を守った事例もある。大阪のクラブからも支援を受けて建立を進め、津波から命を守るための指標を後世に残す。

津波の到達点で、石柱を建てる場所を確認するロータリクラブの会員＝宮古市田老

石柱は同市田老から重茂地区にかけて建てる。27日現在、15カ所のうち10カ所の建立は地権者の了承を得た。田老地区を皮切りに年内に着工し、来年夏ごろまでの全地区の建立を目指している。

27日は、建立支援に名乗りを上げた大阪府の堺東ロータリークラブ（八百正浩会長）と宮古東のメンバー約15人が、同市田老の国道45号沿いにある大上神社付近の建立予定地を視察し、海抜約10㍍の地点に建立することを確認した。

石柱は高さ80㌢程度を見込み「2011年3月11日 津波到達点」と記す。山口会長は「一番の思いは後世に残すこと。永く残る物を築くことで、震災を風化させたくない」と惨禍を忘れずに取り組む。

同市重茂の姉吉地区には、過去の教訓を伝える「此処（ここ）より下に家を建てるな」との石碑があり、集落が守られた。宮古東は震災復興支援に力を入れるためプロジェクト委員会（山崎秀明委員長）を立ち上げ、前例を「教科書」に石柱の建立事業を決めた。

堺東は共に「東」が付くことなどを縁に、7カ所の石柱建立を受け持つ。「被災者を決して忘れることはない」と八百会長。要所15地点に建つ平成の石碑が未来永劫、市民に警鐘を鳴らし続ける。

県内では陸前高田市の住民らが実行委を組織し、津波の到達点に桜を植樹して線を描く「桜ライン311」事業を始動させており、浸水区域との境目を後世に伝えることを目的とする活動が活発化してきた。

Sakaihigashi Rotary Club 40th ● 20

第2520 地区の当時のガバナー補佐様と知り合う事ができ、宮古東 RC が津波到達地点に数キロごとに 15 基の石碑を建立したいと考えていることを教えて頂く事ができました。これから其の地に生まれてくる人たちに「地震が来たらこの石碑より上に逃げてください」とのメッセージを、今後何十年、何百年と送り続ける事ができます。40 周年の勢いもあり、15 基中 8 基を堺東 RC が寄贈することになりました。寄贈にあたり、何度か現地に視察に訪れました。このことは地元の新聞にも大いに取り上げられました。また、2013～2014 年度には引き続き、宮古市の海を豊かにするために「川の上流の森を豊かにする」という植樹プロジェクトにも参加しました。これらの奉仕を通じ、一昨年、宮古東 RC の創立 50 周年の記念事業の１つとして当クラブと「友好クラブの締結をしたい」とのお話を頂くことになりました。奉仕活動を通じて持ち上がった話に、堺東 RC は大変な喜びに包まれました。

＜背景＞宮古市は、農林漁業といった第一次産業が盛んで、親潮と黒潮がぶつかり合う三陸沖は世界有数の好漁場です。2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、沿岸部の漁場に甚大な被害をもたらしました。宮古では山間部の川井地区に位置する牧草地跡に広葉樹 6 種（今回はブナ）を植えます。そこには、宮古湾に注ぐ、サケの遡上で有名な閉伊川の水源が近くにあり、やがて樹が成長し豊かな海の資源を支える魚付き林となります。「森・川・海」と人が共生する安らぎのまち、宮古市。森が育んだ清らかな水は、川から海へと注ぎ込み、豊かな漁場を育てます。森を育て守っていく事は、被災した漁業のまちの復興支援に繋がるのです。

記念事業報告

創立 40 周年記念実行委員会 委員長　市平　一

この度の東日本大震災に対しましては前年度にはささやかながら、義援のかたちで参画させていただきましたが、本年度も及ばずながら何かお役にたてたらとの思いがありました。

社会奉仕委員会でもって、問い合わせをさせていただきましたところ、岩手県、宮古東ロータリークラブが津波到達地点へ複数の石碑を建立されるとのお話を伺いしました、そこで、八百会長の強い思いもあり、会員全員の物心両面の奉仕により１５基の石碑のうち、8 基を現地の宮古東ロータリークラブへ寄贈させていただくこととなりました。

ご当地におきまして地震、津波は大変な出来事ではありましたが、私どもにはこの度のご縁と、この時期を得て、宮古東ロータリークラブとともに将来にわたって、意義のある事業となりえたものと思っております。

会員全員による臨時特別寄付は 278 万円、内 252 万円を石碑建立資金とし、残額 26 万円を今後のための災害準備基金としました。

なお、私たちはこの度の 40 周年に際し、その事業の一環として記念誌の発行に目下取り組んでおります、ご投稿をお願いいたしましたご来賓の皆様方にはご協力に衷心より感謝申し上げます。10 月ごろの発行の予定で、いずれ謹呈させていただきますが、よろしくご理解いただきますようお願い申し上げます。

以上、記念事業報告といたします、有難うございました。

「津波到達地石碑」　● Sakaihigashi Rotary Club 40th

２つの友好クラブとは締結に至る経緯は違いますが、国内の異なった地域に友好クラブを持つことを、当クラブは大変誇りに思っております。これからも「無理せず、気長に、末永く」良い関係を続けていきたいと考えております。

第2640地区　会員数・出席報告（2016年8月）

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月	平均
	16.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計		出席率	出席率
有田	27	26	0	0	1	1	3	80.77	83.66
有田2000	18	18	0	0	0	0	4	90.28	93.98
有田南	31	31	0	0	0	0	4	93.18	92.15
ワールド大阪	24	24	0	0	0	0	4	100.00	100.00
Rotary E-Club Sunrise of Japan	16	20	0	4	0	0	2	100.00	100.00
御坊	42	42	0	0	0	0	3	81.82	83.24
御坊東	16	18	0	2	0	0	4	84.72	80.56
御坊南	29	29	0	0	0	0	3	85.71	89.73
羽曳野	14	14	0	1	0	1	4	89.15	92.65
羽衣	15	15	0	0	0	0	3	82.20	88.30
橋本	52	52	0	0	0	0	3	96.54	95.91
岩出	26	26	0	0	0	0	3	84.62	87.99
和泉	21	22	1	2	0	0	4	97.49	97.50
泉大津	39	40	1	1	0	0	3	88.14	91.41
泉佐野	27	28	0	1	0	0	3	98.77	97.50
和泉南	34	34	0	0	0	0	3	68.39	72.01
海南	25	25	0	0	0	0	3	70.70	74.85
海南東	44	44	0	0	0	0	4	70.56	70.55
海南西	20	19	0	0	0	1	3	81.92	84.77
貝塚	16	16	0	0	0	0	4	96.67	96.67
貝塚コスモス	12	12	0	0	0	0	4	84.84	84.84
関西国際空港	20	20	0	1	0	0	3	93.33	94.17
河内長野	21	21	0	2	0	0	3	82.10	82.70
河内長野東	23	23	0	0	0	0	4	87.67	93.18
河内長野高野街道	13	13	0	0	0	0	3	76.90	70.00
岸和田	30	30	0	0	0	0	4	84.05	81.48
岸和田東	38	38	0	0	0	0	3	96.29	96.44
岸和田南	11	11	0	0	0	0	3	84.85	85.61
粉河	18	18	0	0	0	0	4	98.33	97.50
高野山	17	17	0	0	0	0	3	90.00	88.40
KUMATORI 向日葵	5	5	0	0	0	0			
串本	11	11	0	0	0	0	4	79.55	79.55
松原	16	17	0	1	0	0	4	95.59	95.45
松原中	26	28	0	2	0	0	4	87.71	81.81
美原	6	6	0	0	0	0	3	83.00	83.00

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月	平均
	16.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計		出席率	出席率
那智勝浦	17	17	0	0	0	0	3	81.25	78.13
堺利晶	8	3	0	0	0	5	2	100.00	100.00
大阪金剛	16	16	0	0	0	0	3	91.70	87.50
大阪狭山	11	13	1	2	0	0	3	94.80	95.30
りんくう泉佐野	17	17	0	0	0	0	4	88.96	89.79
堺	56	56	0	0	0	0	3	94.87	95.24
堺東	27	27	0	0	0	0	4	97.12	96.63
堺フラワー	13	5	0	0	0	2	2	60.00	65.00
堺泉ヶ丘	21	21	0	0	0	0	4	94.05	93.45
堺中	22	22	0	0	0	0	4	77.50	78.12
堺北	30	32	0	2	0	0	3	92.70	92.47
堺おおいずみ	32	32	0	0	0	0	5	73.73	83.80
堺フェニックス	32	32	0	0	0	0	2	100.00	100.00
堺清陵	22	22	0	0	0	0	3	91.23	93.12
堺南	11	11	0	0	0	0	4	95.46	94.55
堺東南	10	9	0	0	0	1	3	92.59	93.17
新宮	52	51	0	0	1	1	4	70.67	71.88
白浜	10	10	0	0	0	0	2	100.00	95.00
太子	13	14	0	1	0	0	3	85.70	88.80
高石	27	27	0	0	0	0	4	75.53	75.15
高師浜	14	14	0	0	0	0	2	96.43	92.27
田辺	82	86	1	4	0	0	4	86.66	87.21
田辺東	47	48	0	1	0	0	4	93.48	93.40
田辺はまゆう	42	43	0	2	0	1	4	85.37	80.78
富田林	34	34	0	0	0	0	3	70.91	74.08
富田林南	12	12	0	0	0	0	3	83.33	84.52
和歌山	64	67	2	3	0	0	4	79.93	80.79
和歌山アゼリア	32	32	0	0	0	0	4	90.69	88.14
和歌山東	42	44	0	2	0	0	3	88.33	89.96
和歌山城南	41	41	0	0	0	0	3	83.29	83.17
和歌山中	30	30	1	1	0	1	3	88.26	83.89
和歌山北	36	37	0	3	0	0	4	78.40	74.80
和歌山南	75	79	2	5	1	1	3	90.22	87.41
和歌山東南	44	44	0	0	0	0	4	91.62	91.36
和歌山西	13	13	0	0	0	0	4	84.09	87.50

クラブ	7月1日 会員数				8月末 会員数				月平均	入会		退会	
	男性	1,689	女性	169	男性	1,705	女性	169	出席率	8月	累計	8月	累計
70	1,858				1,874					9	43	4	27

地区行事予定

2016年　10月　経済と地域社会の発展月間・米山月間			
日	曜日	行　事（時間）	会　場
4	火	堺東RC　公式訪問　（12:30～）	堺商工会議所2F
5	水	貝塚コスモスRC 公式訪問　（12:30～）	産業文化会館1Fメインホール
		堺中RC　公式訪問　（18:30～）	アンジェリカ・ノートルダム
		ガバナー補佐・地区幹事合同会議　（12:30～）	ガバナー事務所
6	木	田辺RC　公式訪問　（12:30～）	紀伊田辺シティープラザ5F　鳳凰の間
		堺清陵RC　公式訪問　（18:00～）	ホテル・アゴーラリージェンシー堺25F「日本料理　なにわ」
7	金	白浜RC　公式訪問　（12:30～）	白浜町商工会3F
12	水	粉河RC　公式訪問　（12:30～）	紀の川市立粉河ふるさとセンター
		りんくう泉佐野RC　公式訪問　（18:30～）	関西エアポートワシントンホテル3F
13	木	海南西RC　公式訪問　（12:30～）	海南商工会議所4F　大ホール
18	火	御坊南RC　公式訪問(12:30～)	御坊商工会議所3F
19	水	地区大会記念ゴルフ大会	聖丘カントリー倶楽部
20	木	岩出RC　公式訪問　（12:30～）	岩出市商工会館2F
		堺東南RC　公式訪問　（18:30～）	サンパレス
22	土	地区大会　（1日目）	ホテル・アゴーラリージェンシー堺
23	日	地区大会　（2日目）	ホテル・アゴーラリージェンシー堺
26	水	羽曳野RC　公式訪問　（16:00～）	LICはびきの2F　大会議場
30	日	インターアクトリーダーシップフォーラム　（10:00～）	高野山大学
		青少年交換委員会　2017－2018年度派遣候補生　第2回オリエンテーション	りんくう国際物流センター

国際ロータリー第2640地区

ガバナー事務所のご案内

〒590-0985　堺市堺区戎島町４-45-１
ポルタスセンタービル１階 101 号室
TEL（072）223-1000
FAX（072）223-1005
URL : http://rid2640g.com/fukui/
E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp

Rotary　国際ロータリー
第2640地区